

大項目	中項目	小項目	回答
1 食数管理	1 食事オーダー取込み	1 電子カルテ、食事オーダーリングシステムより入力された、入院患者の食事情報を任意の指示により、部門システムに更新ができること	
1	1	2 電子カルテ、食事オーダーリングシステムより送信されたデータの内容を確認できること	
1	2 食事箋登録/修正	1 患者一人一人の食事情報を変更が発生した時点で登録し、その食事情報を履歴形式で管理できること	
1	2	2 患者の食事情報として下記の項目が登録できること [患者属性] ・患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、性別、生年月日、身長、体重 [食事履歴] ・開始日付(月日・区分)、理由、診療科、病棟、病室、ベッド、食種、献立食種、主食、配膳場所、 フリーコメント(30文字)、加算/非加算、病名、主治医、特別指示(10項目)、禁止事項(10項目) 経管情報、付加食情報、調乳情報	
1	2	3 当業務画面では、該当患者の食事履歴を最新のものからツリー形式で表示し 表示画面を開いて全履歴を参照することができること	
1	2	4 食事履歴情報の通常追加、途中挿入、修正、削除、一括削除ができること	
1	2	5 患者の食事情報は、朝・昼・夕の献立を指示する。昼のみ欠食などの部分欠食ができること	
1	2	6 注入情報（経管栄養情報）を朝昼夕別に管理ができること i) 経管製品の種類、1回の本数、1回の指示量 ii) 1回に3種類の製品指示ができること	
1	2	7 調乳情報が管理できること i) ミルクの種類、本数、濃度、分量、空瓶本数、容器サイズ、乳首サイズ ii) 3種類のミルク製品指示ができること。	
1	2	8 各項目のHELPが参照できること 《HELP機能》 ・患者氏名の一覧検索、名称検索 ・理由の名称検索 ・病棟の名称検索 ・献立の名称検索 ・特別指示の名称検索 ・診療科の名称検索 ・食種の名称検索 ・主食の名称検索 ・禁止事項の名称検索	
1	2	9 患者ごとの登録済み状態項目内容（指示項目、指示内容、更新日時、最終更新者等）を一覧で参照できること	
1	3 患者照会	1 指定された年月日・区分に入院している患者について、その時点の食事情報を患者番号順に画面表示できること	
1	3	2 以下の検索条件に該当する患者を抽出し患者番号順に画面上に表示できること。 また、各項目間ではAND・OR検索および抽出ができること ・誕生日 ・年齢 ・カナ氏名 ・フリーコメント文字 ・理由 ・病棟 ・食種 ・主食 ・献立食種 ・飲物 ・禁止事項 ・特別指示 ・特食加算 ・調乳情報 ・経管情報 ・食事箋病名	
1	3	3 以下の項目について、昇順または降順にソートさせて表示できること ・氏名 ・カナ氏名 ・患者番号 ・性別 ・生年月日 ・年齢 ・病棟コード ・病室 ・開始日 ・区分 ・理由コード ・食種 ・主食 ・飲物 ・特別指示 ・禁止事項 ・コメント ・食事箋病名 ・食事箋病名フリー ・経管コード ・調乳コード ・禁止事項コード ・特食加算フラグ ・コメント ・経管コード ・調乳コード	
1	3	4 以下の項目について、組み合わせソートさせて表示できること ・氏名 ・カナ氏名 ・患者番号 ・生年月日 ・年齢 ・開始日 ・食事箋病名 ・食事箋病名（フリー） ・特食加算フラグ ・調乳 ・経管 ・付加食 ・コメント ・禁止事項 ・特別指示（共通/朝/昼/夕） ・飲物 ・主食 ・オーダー食種 ・献立食種 ・理由 ・病室 ・病棟	
1	3	5 検索結果を印刷できること	
1	3	6 患者照会画面より、指定された患者の食事箋登録画面に遷移できること	

大項目	中項目	小項目	回答
1	3	7 検索結果を外部ファイルに出力することができること	
1	3	8 各項目のHELPが参照できること 《HELP機能》 ・病棟の名称検索 ・病名の名称検索 ・食種の名称検索 ・主食の名称検索 ・飲物の名称検索 ・特別指示名称検索 ・禁止事項の名称検索 ・日付のカレンダー入力	
1	4 患者照会リスト	1 指定された年月日・区分・抽出条件に該当する患者の食事情報を一覧出力できること	
1	4	2 以下の検索条件を複数組み合わせで一覧出力できること 理由、病棟、献立食種、主食、飲物、特別指示、禁止事項、フリーコメント有無	
1	4	3 出力結果を以下の項目でソートできること 食事有無、病棟並び順、病室、献立食種、献立グループ、食数表出力順、配膳表出力順、食札出力順、主食コード、主食優先順位、飲物コード、患者番号	
1	4	4 検索条件の組み合わせパターンを20種類まで保存できること	
1	4	5 検索結果を外部ファイル（エクセルデータ等）に出力することができること	
1	5 変更患者一覧表	1 指定された年月日・区分に食事変更のある患者を抽出し、変更前と変更後の食事情報を一覧表にして出力できること	
1	5	2 病棟別・患者番号順に出力できること	
1	5	3 前回（同日・同区分(朝昼夕)）出力変更患者情報との差分出力できること	
1	5	4 変更項目に背景色を設定し、色の選択も設定できること	
1	6 食札	1 指定された年月日・区分の食札を出力することができること	
1	6	2 食札の出力は、以下の指示により患者情報抽出出力できること ・全患者出力 ・差分出力 ・食種指定出力 ・病棟指定出力 ・個人指定出力	
1	6	3 食札の作成用途に合わせて、出力順番パターンが指定できること	
1	6	4 食札には、指定により指定年月日・区分（朝昼夕・中間食）の料理名称が表示できること	
1	6	5 食札に出力する、料理は料理区分（料理グループ）などの指定により選択ができること	
1	6	6 病棟名称、食種名称、主食名称、特別指示名称、禁止事項名称はカラーで出力することができること。 項目カラー印字については、マスタ設定にて変更が任意にできること	
1	6	7 指定された年月日・区分に食事変更のある患者を抽出し、食札を出力することができること。 一度処理を実行すると、同じ日付・区分を指定してもその患者の食札は作成されなくなる	
1	6	8 患者指定分出力として、指定された日付・区分時点での指定患者の食札を編集し、出力することができること	
1	6	9 おやつ食、中間食の対象患者分のみの食札を出力できること	
1	6	10 食札のレイアウトの変更対応ができること	
1	7 食数表	1 指定された年月日・区分の食数表出力ができること	
1	7	2 以下の集計ができること ・食種別/主食別 ・食種別/病棟別 ・主食別/病棟別 ・食種別/特別指示別 ・食種別/禁止事項別	
1	8 病棟別食事一覧表	1 指定された年月日・区分の患者情報を病棟別に一覧表にして出力することができること	
1	8	2 出力順は以下の3種類より選択できること ・病棟・食種・患者番号 順 ・病棟・病室・患者番号 順 ・病室・食種・患者番号 順	
1	8	3 出力対象の病棟指定ができること	

大項目	中項目	小項目	回答
1	8	4 作成された一覧表情報は外部出力ができること。	
1	8	5 病棟別食事一覧表にて作成された情報は、食種別、主食別食数集計表として出力することができること	
1	9 禁止事項患者リスト	1 指定された月日・区分において、患者に登録されている禁止事項を指定し(複数指定可)、一覧表として出力ができること	
1	9	2 出力順は以下の2種類より選択できること ・病棟・病室・食種 順 ・食種・病棟・病室 順	
1	10 特別指示患者リスト	1 指定された月日・区分において、患者に登録されている特別指示を指定し(複数指定可)、一覧表として出力ができること	
1	10	2 出力順は以下の2種類より選択できること ・病棟・病室・食種 順 ・食種・病棟・病室 順	
1	11 付加食食数表	1 指定した日付において、患者に登録されている付加食情報にて朝昼夕別の付加食食数表を出力できること	
1	11	2 作成された一覧表情報は外部出力ができること	
1	12 患者情報一覧表	1 指定された指示により、部門システムの患者を患者情報一覧表として出力できること	
1	12	2 出力指示 1. 期間指定 : 指定期間に入院されている患者の食事履歴情報 2. 全履歴・患者指定 : 指定患者の入院食事履歴情報 3. 退院患者 : 指定日に退院をされる患者情報	
1	13 誕生日一覧表	1 患者の誕生日一覧表を、1ヶ月未満の範囲を指定して出力できること。 また、出力順を以下の2種類より選択できること ・病棟、生年月日 順 ・生年月日、病棟 順	
1 <選択食管理>	14 選択食登録/修正	1 選択食対象患者に対して申込み情報の登録、修正ができること	
1	14	2 選択食対象患者は、病棟単位での入力ができること	
1	14	3 患者番号指定により、選択食情報の入力ができること	
1	14	4 選択食情報は、マウスクリック及びテンキーでの入力ができること	
1	14	5 選択食実施の設定を毎週/隔週、曜日毎、朝昼夕別の対象を任意に設定できること	
1	15 選択食患者一覧表	1 病棟別、選択食の献立別に人数を集計印刷できること。 また、病棟別、選択食の献立別に患者一覧表の印刷ができること	
2 献立管理	1 献立登録/修正(日付展開)	1 1画面で4週間分(28日)以上の献立の登録/修正管理ができること	
2	1	2 実施献立を複数日、2週間分以上をカレンダー形式で表示できること。 献立内容の登録、修正を一括で行うことができること	
2	1	3 以下の操作ができること ・料理名の列幅、文字サイズの調整 ・食品名、使用量、コメントの表示 ・非表示の選択 ・食品の追加/修正/削除 ・料理の追加/修正/削除 ・食品の登録位置の上下移動 ・食品の複数選択削除 ・料理を構成している食品の可食量の一括変更 ・料理の登録に関する「元に戻す」「やり直す」の処理 ・画面上での複写(コピー&ペースト、横展開、縦展開、全展開など) ・区分ごと、1日合計栄養価(8訂栄養価、アミノ酸成分表、脂肪酸成分表、 炭水化物成分表、糖尿病表単位、腎臓病表単位)の表示	
2	1	4 1献立1区分(朝昼夕)での料理登録数は、最低10料理以上登録できること	
2	1	5 料理は、過去の既存献立より、1食種1日分単位、1食種1区分単位、料理単位での流用ができること	
2	1	6 指定日付分の全ての料理検索から、料理選択ができること	
2	1	7 料理区分(主食・主菜・副菜等)、食品種別(魚介類・卵類等)・調理区分(揚物・煮・調理コーナー等)の検索項目により料理検索ができること。	
2	1	8 料理一部名称での料理検索ができること。	
2	1	9 栄養素(エネルギー、蛋白、脂質、塩分など)において、栄養価の範囲を指定して料理検索ができること	

大項目	中項目	小項目	回答
2	1	10 実施献立の料理単位に、禁止事項に対する代替料理情報を登録できること	
2	1	11 実施献立の料理単位に、レシピ登録をすることができること	
2	1	12 実施献立の料理単位に、温冷区分の別登録ができること	
2	1	13 料理の構成食品単位に、個付や切方(短冊切り、角切りなど)の調理指示登録ができること	
2	1	14 料理情報の金額が表示できること	
2	2 献立登録/修正(献立展開)	1 献立情報は、実施献立の登録管理ができること	
2	2	2 1画面で1日分複数食種、30食種以上の実施献立を一度に表示し、登録、修正ができること	
2	2	3 以下の操作ができること <ul style="list-style-type: none"> ・料理名の列幅、文字サイズの調整 ・食品名、使用量、コメントの表示・非表示の選択 ・食品の追加/修正/削除 ・料理の追加/修正/削除 ・食品の登録位置の上下移動 ・食品の複数選択削除 ・料理を構成している食品の可食量の一括変更 ・料理の登録に関する「元に戻す」「やり直す」の処理 ・画面上での複写(コピー&ペースト、横展開、縦展開、全展開など) ・区分ごと、1日合計栄養価(7訂栄養価、アミノ酸成分表、脂肪酸成分表、炭水化物成分表、糖尿病表単位、腎臓病表単位)の表示 	
2	2	4 1 献立 1 区分(朝昼夕)での料理登録数は、最低10料理以上登録ができること	
2	2	5 料理は、過去の既存献立より、1 食種 1 日分単位、1 食種 1 区分単位、料理単位での流用ができること	
2	2	6 指定日付分の全ての料理検索から、料理選択ができること	
2	2	7 料理区分(主食・主菜・副菜等)、食品種別(魚介類・卵類等)・調理区分(揚物・煮等)の検索項目により料理検索ができること	
2	2	8 料理一部名称での料理検索ができること	
2	2	9 栄養素(エネルギー、蛋白、脂質、塩分など)において、栄養価の範囲を指定して料理検索ができること	
2	2	10 実施献立の料理単位に、禁止事項に対する代替料理情報の登録ができること	
2	2	11 実施献立の料理単位に、レシピ登録ができること	
2	2	12 実施献立の料理単位に、温冷区分の別登録ができること	
2	2	13 実施献立の料理単位に、調理区分・料理作成コーナー別登録ができること	
2	2	14 料理の構成食品単位に、個付や切方(短冊切り、角切りなど)の調理指示登録ができること	
2	2	15 複数食種の献立栄養価を比較表示できること	
2	2	16 複数食種の表示は、以下の指示により表示ができること ①食種組合せ表示 ※エネルギー制限食系、塩分制限食系などパターン化食種の組合せをマスタ管理ができること。 ②食種範囲指定表示 食種の範囲指定を行い、複数の食種献立情報の比較表示ができること。 ③個別指定表示 任意に食種の設定を行い献立の比較表示ができること。	
2	2	17 料理情報の金額が表示できること	
2	3 献立複写処理	1 実施献立データ、サイクル献立データを1日単位、1食種単位、又は区分(朝・昼・夕)単位で複写できること	
2	3	2 指定された期間を一括で複写できること。 複写処理では、新規挿入更新、上書き更新の選択ができること	
2	3	3 複写先の日付、食種における献立情報の存在のチェック機能は次の通り i) 複写処理の場合、処理完了後に複写をされなかった献立食種情報のメッセージを表示確認できること ii) 上書き更新処理の場合、既存データが存在することのメッセージを表示し上書き更新をするか選択できること	
2	3	4 指定された期間において既に登録済の各献立データを、1日単位、1食種単位、又は区分(朝・昼・夕)単位で入替えができること	

大項目	中項目	小項目	回答
2	3	5 既に登録済の各献立データを1食種単位で削除することができること。 また、1日分の全食種の献立データを削除することができること	
2	3	6 処理対象とする献立食種情報をパターン化登録できること	
2	4 料理一括修正	1 指定した日付、朝昼夕区分での実施献立料理情報を一括で指定料理に入替えができること 例) 2023年10月10日 全食種 フレンチサラダ => 和風だいこんサラダ フレンチサラダを和風だいこんサラダに一括変更	
2	4	2 対象食種の選択ができること。 料理一括修正を行う、食種の指定は、1食種単位指定、食種範囲指定、全食種指定の選択ができること	
2	4	3 入替え対象料理は、料理名または料理名に使用されている一部文言を検索し、対象料理の抽出を行うことができること	
2	4	4 検索によって抽出された対象料理は、編集対象とすかどうか選択ができること。 また、料理名、食品、可食量が共通の料理を集約できること	
2	4	5 検索によって抽出された対象料理の内容は、以下の操作によって別の料理に入替えができること ・流用：抽出された料理情報をベースに料理情報を変更、一括修正ができること ・料理検索：料理マスクより入替え対象料理を検索し、一括修正ができること ・新規料理作成：新規に入替え料理を作成し、一括修正ができること	
2	5 食品一括修正	1 指定した期間、食種、食品より、実施献立情報から、対象料理を抽出し一括で指定食品に入替え できること	
2	5	2 抽出対象食品は、食品コード、食品名称にて抽出ができること	
2	5	3 一括入替え対象抽出料理は、以下の情報を対象料理情報として一覧形式に表示できること ・サイクル、献立食種名、朝昼夕区分・料理名・料理区分・食品種別・調理区分・食品コード・可食 量・切り方	
2	5	4 対象料理単位に変更先食品は修正、削除、追加ができること	
2	6 献立栄養価一覧表	1 指定された期間・食種の献立情報を以下の様式で献立栄養価一覧表として出力ができること ・食品別：指定日付別、朝昼夕別、料理別、食品別 栄養価一覧表 ・料理別：指定日付別、朝昼夕別、料理別 栄養価一覧表 ・日付別：指定日付別、朝昼夕別 栄養価一覧表	
2	6	2 集計対象、栄養素項目「栄養素」「アミノ酸」「脂肪酸」「炭水化物」より、任意に選択できること	
2	6	3 集計された栄養価一覧表は、外部ファイルに出力できること	
2	7 食種別献立表	1 指定された期間・食種の献立情報と栄養価(朝昼夕ごとおよび合計)を一覧表として出力ができること。 また、各種比率分類 (SMP比、P/S比、穀類I補キ [※] 比など)の表示ができること	
2	8 月間献立表	1 指定された期間・食種のメニューを一覧表にまとめ外部ファイルに出力できること	
2	8	2 日付別・食事区分別に料理名を表示できること	
2	8	3 ファイルに出力する、対象料理区分の選択ができること	
2	9 週間献立表	1 指定された期間(7日以内)・食種のメニューを一覧表にまとめ出力できること	
2	9	2 日付別・食事区分別に料理名を表示できること。 また、日付ごとの主要栄養価も出力できること	
2	9	3 帳票に出力する、対象料理区分の選択ができること	
2	10 献立表 (献立展開 5 連)	1 指定された期間・食種の献立情報を5食種単位で一覧表として出力できること。また、栄養価(最大 30項目)の選択表示ができること	
2	10	2 1 帳票への食種組合せは、任意 1 0 パターンの作成条件設定ができること	
2	11 献立表 (日付展開 5 連)	1 指定された期間・食種の献立情報を5日単位で一覧表として出力できること。また、栄養価(最大30 項目)の選択表示ができること	
2	12 料理明細表	1 指定された日付の全献立データを分解し、料理ごとにどの食種の献立として何人分給食するのかを一 覧表にまとめ出力できること	
2	12	2 人数の集計は、予定人数・実人数のどちらかを指定して行えること	
2	12	3 全料理出力、人数データのある料理出力のどちらかを指定して行えること	
2	12	4 出力対象、料理区分の指定ができること	
2	12	5 出力対象、「調理コーナー」を4コーナー以上の指定ができること	

大項目	中項目	小項目	回答
2	12	6 帳表出力部数指示ができること	
2	13 材料仕分表	1 指定された日付の実施献立から、各区分(朝・昼・夕)ごとに使用される食品とその食品を使用する料理名、その料理での使用量を「調理コーナー」ごとの内訳に分け、一覧表として出力できること	
2	13	2 人数の集計は、予定人数・実人数のどちらかを指定できること	
2	13	3 全料理出力、人数データのある料理出力のどちらかを指定できること	
2	13	4 帳票に出力する、対象料理区分(主食、主菜、副菜など)の選択ができること	
2	14 検食簿	1 指定された期間・食種の献立について検食簿を出力できること	
2	14	2 出力対象、料理区分の指定ができること。	
2	14	3 出力対象、業種区分の指定ができること。	
2 <個人献立管理>	15 個人対応食作成処理	1 指定日付の実施献立と患者情報(禁止事項)から、禁止事項対象料理のチェックを行い、あらかじめ指定された代替料理への変更ができること。 また、代替料理の指定が無い場合は、個人献立作成の警告チェックができる一覧表を出力できること	
2	16 個人対応食エラー一覧表	1 指定日付の実施献立と患者情報(禁止事項)から、禁止事項対象料理のチェックを行い、警告チェックができる一覧表が表示できること	
2	16	2 一覧表から、指定した患者の個人献立登録/修正画面へ遷移し、個人献立の編集ができること	
2	16	3 個人献立の作成完了を行うと、エラー一覧より完了患者情報が消えるなど作業状況が分かり易い機能を有すること	
2	17 個人献立登録/修正(日付展開)	1 指定日付、患者ごとの個人献立情報が、朝昼夕別に表示でき、献立の修正ができること ※操作に関しては献立登録/修正(日付展開、献立展開に準じる) また、患者の摂取予定献立の栄養価(1日分・朝昼夕別)、患者に指示されているオーダ食事情報(食種・主食・特別指示・禁止事項・フリーコメント)が表示できること	
2	17	2 個人献立を作成時に献立提供日の全料理検索が行え料理の流用ができること。 料理検索時、全日・朝昼夕での利用料理絞込みができること。 また、料理区分(主食・主菜・副菜等)・食品種別(魚介類・卵類等)・調理区分(揚物・煮等)の検索項目により料理検索ができること	
2	17	3 個人献立を作成時に患者の過去献立情報、他の患者の献立情報から献立の流用ができること	
2	17	4 個人献立料理情報表示時、既存基本料理、患者個人特定料理の区別が、視覚的にわかること	
2	18 個人献立複写処理	1 参照元の個人献立情報を期間指定にて、作成先の個人献立情報として複写ができること	
2	18	2 個人献立の複写対象患者の指定ができること	
2	18	3 複写先の日付に、すでに個人献立情報が存在する場合、上書き更新をするか選択できること	
2	19 個人献立一覧表	1 指定された日付の個人献立情報を一覧表にして出力できること	
2	19	2 個人情報として、患者番号、氏名、特別指示、禁止事項、フリーコメントが表示できること	
2	20 個人献立表(患者展開5連)	1 個人献立作成時に禁止項目、コメント項目、食種、主食指定などにより出力対象患者の検索、絞込みができること	
2	21 個人献立表(日付展開5連)	1 個人献立作成時に出力対象患者の一覧表から任意に対象患者をチェックし帳票を出力できること。	
2 <摂取状況管理>	22 患者別摂取状況登録/修正	1 患者別に食事の摂取状況を日付別、朝昼夕別、その他食事情報として入力できること	
2	23 日別患者摂取状況表	1 患者食事摂取状況を日別に帳票出力できること	
2	24 期間別患者摂取状況表	1 患者別に登録された摂取状況を、期間別に帳票出力できること。	
3 材料管理	1 献立予定数登録/修正	1 発注量計算用の食数を予想し月日別、食種別、朝昼夕ごとに予定人数を登録できること。 また、以下の2通りの入力ができること ・通常：食種別、朝昼夕ごとに人数の入力ができること ・展開：食種別に朝の人数の入力をすると、昼夕に入力した人数がコピーできること	
3	1	2 予定人数データ複写処理ができること ・すでに登録されている予定人数データ(期間)を別の日付または期間に複写できること ・参照日付を1日の指定にした場合はその日付の予定人数データを作成期間の日付の予定人数としてコピーできること ・参照日付を期間指定した場合は、同一期間日数にて予定人数データとしてコピーできること	
3	1	3 実人数データ複写ができること (発注量計算用の食数を、実人数データをもとに集計し予定人数マスタに登録する)	
3	1	4 食種毎に発注予備食数を設定できること	

大項目	中項目	小項目	回答
3	2 献立予定数一覧表	1 指定した期間の予定人数登録情報が、帳票及び外部ファイルとして出力できること	
3	3 発注データ作成	1 指定された期間の献立に使用される食品を業者ごとに集計し、契約情報の付加を行い発注データを作成できること。 このデータは発注・納品ファイルに登録できること	
3	3	2 マスタの設定により1日単位・朝昼夕別の発注数量の集計ができること	
3	3	3 使用日付別・業者別・食品コード順に作成できること	
3	3	4 発注データ作成は、業者指定、全業者指定での処理ができること	
3	3	5 在庫食品については特定コードにまとめられ、当日使用分として出力できること	
3	4 発注データ登録/修正	1 発注データ作成処理で作成された発注データの修正(追加・削除含む)を、1日単位または期間指定で操作できること	
3	4	2 下記の項目が登録、修正できること ・発注業者 ・使用日 ・納品日 ・発注量 ・税区分 ・税率	
3	4	3 以下の操作ができること ・使用日付・業者ごとの発注データの修正 ・使用期間・業者ごとに一覧形式での発注データの修正 ・発注業者の一括変更 ・追加発注する食品を追加発注区分を指定して管理	
3	5 発注書	1 指定された使用日付・業者の発注書を出力できること	
3	5	2 帳票は通常発注・追加発注ごとに出力できること	
3	5	3 出力する業者の指定ができること	
3	5	4 発注書の複数レイアウトの対応ができること 1. 業者別発注書：日付別、発注業者別の食品発注数量 発注書 2. 委託業者向け発注書：発注業者別、日付毎の食品発注数量 発注書	
3 <実発注管理>	6 献立実施数登録/修正	1 月日別、食種別、朝昼夕ごとに実施数数を登録できること。 また、以下の2通りの入力ができること ・通常：食種別、朝昼夕ごとに人数の入力ができること ・展開：食種別に朝の人数の入力をする、昼夕に入力した人数がコピーできること	
3	7 実発注データ作成	1 献立実施数登録/修正で作成されたデータをもとに、指定された期間の献立に使用される食品を業者ごとに集計し、契約情報の付加を行い発注データを作成できること。 このデータは発注・納品ファイルに登録できること	
3	7	2 マスタの設定により1日単位・朝昼夕別の発注数量の集計ができること	
3	7	3 使用日付別・業者別・食品コード順に作成できること	
3	7	4 業者指定、全業者の処理指示ができること	
3	8 発注差リスト	1 予定数での発注数量と実数での発注数量との差を出力できること	
3 <契約管理>	9 契約情報登録/修正	1 年月日を指定すると単価ファイルのデータをもとに、業種ごとに契約食品が表示されるので、それぞれの食品ごとに業者・単価・税の種類・税率を指定できること。 指定された内容はそのまま単価マスタに登録できること	
3	9	2 ここで指定された取り引き業者の情報をもとに、発注書上の食材を業者に発注データが作成されること	
3	9	3 食品別に契約情報の履歴を参照できること	
3	10 単価登録/修正	1 食品ごとに単価を登録できること。 登録可能な項目は、開始日、納品業者名、単価、税区分、税率	
3	11 現在単価一覧表	1 契約情報マスタの内容を編集し、出力できること	
3	11	2 指定された日付時点での単価情報を出力できること	
3	11	3 出力する業者の指定ができること	
3	11	4 検索結果を外部ファイル（エクセルデータ等）に出力できること	
3	12 単価履歴一覧表	1 単価登録処理で登録された単価履歴の内容を全て出力できること。 出力する食品の範囲を指定ができること	

大項目	中項目	小項目	回答
4 統計管理	1 食品群別荷重平均成分表	1 指定された年月・期間、食種の実施献立より、食品群別荷重平均データを作成できること。 また、食品群別荷重壁成分表として帳票出力できること	
4	1	2 全国版・地方版の指定ができること	
4	2 食品構成表	1 指定された年月・食種の食品構成ファイルと画面上で入力した食品群の可食量からエネルギー、蛋白質、脂質、糖質、穀類I補キ [®] -比、動物性蛋白比、脂質I補キ [®] -比を計算し画面に出力できること。 また、食品構成表として帳票出力できること	
4	2	2 全国版・地方版の指定ができること	
4	2	3 構成量は直接入力、荷重平均マスタ、食事基準マスタのいずれかより選択・流用し編集できること	
4	2	4 集計情報は、外部ファイルに出力できること	
4	3 栄養出納表	1 指定された期間・食種の実施献立をもとに、栄養出納表を出力できること。 出力する食種を複数選択できること	
4	3	2 食品群ごとの一人一日あたりの可食量とその可食量あたりの栄養量および栄養比率などを算出できること	
4	3	3 食品分類（全国版・地方版）の指定ができること	
4	3	4 出力栄養価の選択ができること	
4	3	5 荷重平均版として 計算された栄養給と実績表の各食品群別の各栄養素をもとに、食品 群別の 100 g 当たりの栄養価を計算し一覧表として出力できること	
4	4 給与食品検討表	1 指定された期間・食種の実施献立・実人数をもとに、日別・食品群毎の食品量をカレンダー形式の一覧表として出力できること	
4	4	2 食品分類（全国版・地方版）の指定ができること	
4	5 栄養状況報告書	1 指定された期間・食種の実施献立をもとに、栄養状況報告書が出力できること。 可食量・栄養価の計算時に実人数を考慮するか否かを選択できること	
4	5	2 食品群ごとの一か月使用量と可食量、また一人一日あたりの使用量・可食量・可食量あたりの基準食品構成および栄養量、食種別延人数などを算出できること。 なお、延人数は実人数より集計できること	
4	5	3 食品分類（全国版・地方版）の指定ができること	
4	6 栄養出納表(荷重版)※全栄養	1 指定された期間・食種の実施献立をもとに、食品群別の荷重平均栄養価を集計、荷重平均データとして、登録ができること	
4	6	2 食品分類（全国版・地方版）の指定できること	
4	6	3 指定期間は、1ヶ月以上の指定ができること	
4	7 月間給食数(加算非加算/朝昼夕)	1 指定された期間の統計食種ごとの加算・非加算別の給食数と欠食数を集計し出力できること	
4	7	2 出力指示で日報を指定したときは指定期間内の日別の集計表が作成され、月報を指定したときは指定期間内の給食数をまとめた集計表を作成できること	
4	8 月間給食数(朝昼夕)	1 指定された期間の統計食種ごとの朝昼夕別の給食数と欠食数を集計し出力できること	
4	8	2 出力指示で日報を指定したときは指定期間内の日別の集計表が作成され、月報を指定したときは指定期間内の給食数をまとめた集計表を作成できること	
4	9 給食数日計表	1 指定された年月の日別・食種ごとの朝・昼・夕の食数およびその日の給食患者数をカレンダー形式の一覧表に編集し出力できること	
4	9	2 給食患者数の集計の仕方は、特食加算・特食非加算・一般食の順に優先順位があり、同じ日に特食と一般食の両方を摂っている患者は特食の方に集計できること	
4	10 常食患者年齢構成表	1 指定された日付に常食を摂っている患者を抽出し、常食患者年齢構成表を出力できること	
4	10	2 年齢別・男女別の人数とその荷重平均栄養所要量を算出できること	
4	11 食種別給食材料計算表	1 指定された期間における各食品の使用量と金額(合計金額および1人あたり金額)の一覧表で出力できること	
4	11	2 帳票は日報、月報、日計表の出力ができること	
4	11	3 集計情報は、外部ファイルに出力できること	
4	12 食品購入実績表	1 指定された期間における業者別、各食品の使用量を月単位で一覧表出力できること	
4	12	2 集計情報は、外部ファイルに出力できること	

大項目	中項目	小項目	回答
5 マスタメンテ	1 食数管理系マスタメンテ	1 食数管理業務として、以下同様のマスタ類の登録、修正、削除ができること ・主食 ・食種 ・特別指示 ・禁止事項 ・付加食（飲物指示） ・経管製品情報 ・調乳製品情報 ・病棟 ・病室 ・食札色見本	
5	2 献立管理系マスタ	2 献立管理業務として、以下同様のマスタ類の登録、修正、削除ができること ・献立食種 ・食品 ・料理 ・加工食品 ・業種 ・料理区分 ・調理区分 ・食種基準 ・切方	
5	3 材料管理系マスタ	3 材料管理業務として、以下同様のマスタ類の登録、修正、削除ができること ・業者 ・税率 ・発注区分	
5	4 統計管理系マスタ	4 統計管理業務として、以下同様のマスタ類の登録、修正、削除ができること ・常食患者年齢構成 ・食品分類 ・統計食種	
5	5 各種マスター一覧表	5 各種マスタ類は、一覧表として出力ができること	
6 データベース管理	1 バックアップ	1 データベースは、定期的に3世代以上のバックアップができること	
6	1	2 データは、指示により何時でもバックアップデータより復旧ができること	
6	2 セキュリティー機能	1 システム起動をする際に、使用者のID、パスワードのチェックができること	
7 栄養指導	1 スケジュール	1 担当栄養士、指導場所毎に栄養指導予約登録ができること。	
7	1	2 病院独自の休日・栄養士の予定を登録できること。	
7	1	3 週間、指導時刻の予約スケジュールが確認表示できること。	
7	1	4 指導日、指導時刻の予約スケジュールが確認表示できること。	
7	1	5 これらの情報は、栄養指導カルテ・集団指導のファイルにデータが反映できること。	
7	1	6 予約スケジュール情報を印刷できること。	
7	2 栄養カルテ	1 患者基本情報として下記の項目が登録できること。 ・氏名、カナ氏名、性別、生年月日、職業、住所、電話番号、生活活動強度 ・家族構成 ・家族歴 ・病歴 ・備考	
7	2	2 医師からの指示情報として下記の項目が登録できること。 ・指導依頼日 ・指導内容 ・栄養指示内容 ・コメント ・病名	
7	2	3 医事情報として下記の項目が登録できること。 ・指導日 ・入外区分（入院、外来） ・指導回数（初回、継続指導） ・個人指導、集団指導 ・加算情報（初回、2回目以降） ・指導内容（指導食種、指導教室） ・指導場所（病棟、指導部屋） ・指導時刻（開始時刻、終了時刻）	

大項目	中項目	小項目	回答
7	2	4 栄養指導記録（SOAP）として下記の項目が登録できること。 ・S：病状、受講者情報、フリーコメント情報 ・O：身体計測値、検査値、処方情報、生活活動情報、食事調査、 その他（任意項目）、フリーコメント情報 ・A：評価、フリーコメント情報 ・P：栄養指示、栄養指導計画、フリーコメント情報	
7	2	5 患者属性情報、医師からの指示情報、医事関連情報（入院・外来、個人・集団、指導加算）を表示できること。	
7	2	6 指導日毎の内容を参照できること。	
7	2	7 S、O、A、Pの表示している情報から各種詳細登録画面に遷移できること。	
7	2	8 既存栄養指導カルテ情報の引用DO処理ができること。	
7	2	9 食事結果情報・検査結果を参照できること。	
7	2	10 栄養指導カルテ情報を印刷できること。	
7	2	11 栄養指導カルテ情報を電子カルテシステムに送信連携できること。	
7	3 個人指導	1 栄養指導日、担当栄養士の指定により、個人指導対象患者の情報が一覧画面で表示できること。	
7	3	2 個人指導の対象患者について、一覧画面で基本情報・指導評価（理解度、評価コメント）を登録できること。	
7	4 集団指導	1 集団指導日、指導時刻、担当栄養士の指定により、集団指導対象患者の情報が一覧画面で表示できること。	
7	4	2 集団指導の対象患者について、一覧画面で基本情報・指導評価（理解度、評価コメント）を登録できること。	
7	4	3 集団指導情報が印刷できること。	
7	5 食事記録	1 患者が記録してきた食事情報を登録できること。	
7	5	2 料理毎、食品毎、朝・昼・夕・間食毎に栄養価が参照できること。	
7	5	3 一日毎の栄養価・基準値・充足率が参照できること。	
7	5	4 栄養指導記録にこれらの情報を反映できること。	
7	5	5 病院給食システムより、献立情報を引用できること。	
7	5	6 食事記録情報が、食事記録結果表として帳表出力ができること。	
7	5	7 食事記録情報と食事基準値情報から、指定栄養素項目のグラフ（レーダーチャート、棒グラフ）表示ができること。	
7	6 問診	1 一問一答式で登録できること。	
7	6	2 問診内容について、設定で変更できること。	
7	6	3 問診結果に対する栄養士の評価内容が入力できること。	
7	6	4 評価内容について、結果出力後、修正ができること。	
7	7 患者照会	1 指定期間に栄養指導の予定、実績のある患者を検索できること。	
7	7	2 以下の検索条件に該当する患者を抽出し患者番号順に画面上に表示することができること。また、各項目間ではAND・OR検索および抽出ができること。 入院／外来区別、病棟、個人指導／集団指導区別、指導内容、栄養士、指導場所、加算、担当医師、診療科、病名	
7	7	3 指導日、患者番号、入外区分、指導内容、栄養士、指導場所、加算、担当医師、診療科、病名の項目について、組合せソート表示することができること。	
7	8 栄養指導実施件数表	1 指定期間の栄養指導件数を集計出力できること。	
7	8	2 個人指導、集団指導の加算・非加算別に以下の集計ができること。 ・指導内容別 ・病名別 ・診療科別	
8 データ移行	1 データ移行	1 既存の給食・栄養指導システムのデータを、新システムに移行できること。	